

むつ工との交流(手作り班)

今年度は、5月18日(火)、6月15日(火)、10月26日(火)、12月14日(火)の計4回、むつ工業高校と手作り班との交流活動が行われました。1~2回目の交流では、むつ工生4名が来校し、どんな教材があれば本校児童生徒が授業で喜んで使ってもらえるかを、手作り班のメンバーと一緒に考える活動を行いました。

10月26日 【場所】むつ工業高校



むつ工生の説明を聞きながら、道具を使ってオリジナルのキーホルダーを作りました。

12月14日 【場所】むつ養護学校



むつ工生が作った棚をお披露目し、小学部の学級に寄贈しました。木べらのやすりがけも一緒に行いました。

リサイクル班<地域リソースや人材との共創> ~対話や協働を通して身に付けた、生きて働く「知識・技能」の習得~

リサイクル班では、年間を通して2つの業務を行っています。

1つ目は、水道メーターの解体と部品の分別、解体部品の洗浄と部品ごとの袋詰め業務です。これは、東北町にある東管工業株式会社と連携し、解体用水道メーターを届けていただき、「東管工業株式会社むつ養護支社」として開設し業務を行っています。働く意義やスキルを直接学ぶ機会は年間2回あります。1回目は、東管工業株式会社の社員の方が来校し、部品の解体や汚れ落としの仕方を直接生徒達へ指導していただくことです。2回目は、リサイクル班の生徒全員が東北町の本社へ行き、部品の分別や汚れ落としの技術、社員として会社の役に立つ仕事をするための自己管理や努力などについて直接教えてもらいました。

2つ目の業務は、エールボール作りです。大湊高校、むつ工業高校の野球部と連携し、練習でボロボロになった硬式ボールをビニールテープで補修しながら、室内や基礎練習などで使えるような修復ボールに応援メッセージを手書きしたエールボールを年間2000個以上作っています。業務中は野球部からいただいたユニフォームをリサイクル班一人一人が着用しながら、『思いは野球部の一員!』でエールボール作りに励んでいます。様々な人達と関わりながら働く喜びや未来への夢や希望を膨らませています。



水道メーターの解体



エールボール作り